

提供日 2024/12/19
タイトル 令和6年度人権問題に関する県民意識調査結果
担当 健康福祉部 福祉長寿局地域福祉課
連絡先 人権同和対策室
TEL 054-221-2303



1 要旨

平成11年度から5年に一度実施している、人権問題に関する県民意識調査の結果の概要を報告する。

〈調査の概要〉

対象	県内居住の満18歳以上3,000人(無作為抽出) 有効回答数:997、有効回収率:33.2%
方法	郵送法 (郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用)
期間	令和6年7月5日(金)～令和6年7月26日(金)
内容	一般的意識、個別課題に関する意識等22問(枝問含めると30問)

2 主な調査結果 * ()内は前回調査からの増減

(1) 人権の関心度

(あなたは「人権」に関心がありますか?)

回答	H11	H16	H21	H26	R元	R6
非常に関心がある、どちらかといえば関心がある	79.2%	72.4% (▲6.8)	63.5% (▲8.9)	62.5% (▲1.0)	61.8% (▲0.7)	66.0% (+4.2)
関心がない、どちらかといえば関心がない	5.7%	4.1% (▲1.6)	8.9% (+4.8)	10.9% (+2.0)	7.2% (▲3.7)	7.6% (+0.4)
どちらともいえない	14.1%	19.3% (+5.2)	25.9% (+6.6)	25.4% (▲0.5)	26.6% (+1.2)	25.1% (▲1.5)

・「非常に関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合は、平成16年度調査以降、低下傾向が続いていたが、初めて上昇した。

(2) 人権尊重意識の定着度

(静岡県は「人権尊重の意識が生活の中に定着した県」になっていると思いますか?)

回答	H11	H16	H21	H26	R元	R6
そう思う、どちらかといえばそう思う	20.5%	26.5% (+6.0)	30.5% (+4.0)	41.8% (+11.3)	38.1% (▲3.7)	30.4% (▲7.7)
そう思わない、どちらかといえばそう思わない	21.1%	17.7% (▲3.4)	17.1% (▲0.6)	8.6% (▲8.5)	5.1% (▲3.5)	6.8% (+1.7)
一概にいけない (*H11は「わからない」含む)	57.4%	55.1% (▲2.3)	50.9% (▲4.2)	47.8% (▲3.1)	47.8% (±0)	59.9% (+12.1)

※令和元年度までは、「人権尊重の意識が生活の中に定着した住み良い県」。

・前回調査と比べて、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、7.7ポイント低下し、「そう思わない」、「どちらかといえば思わない」と回答した人の割合は、1.7ポイント上昇した。その一方で、「一概にいけない」と回答した人の割合は、12.1ポイント上昇して59.9%と約6割を占めており、「一概にいけない」と考える県民が多くなっていることがうかがえる。

(3) 個別の人権問題の関心度

(次にあげた人権問題にどの程度関心がありますか？(複数回答))

区分	H11	H16	H21	H26	R元	R6
女性	79.2%	81.7% (+2.5)	79.7% (▲2.0)	77.6% (▲2.1)	75.3% (▲2.3)	81.7% (+6.4)
子ども	86.4%	89.1% (+2.7)	85.2% (▲3.9)	84.2% (▲1.0)	85.1% (+0.9)	85.7% (+0.6)
高齢者	87.0%	85.2% (▲1.8)	84.3% (▲0.9)	81.6% (▲2.7)	80.5% (▲1.1)	79.0% (▲1.5)
障害のある人	85.2%	86.8% (+1.6)	82.1% (▲4.7)	82.0% (▲0.1)	81.1% (▲0.9)	82.9% (+1.8)
同和問題	46.2%	41.2% (▲5.0)	40.0% (▲1.2)	37.6% (▲2.4)	44.0% (+6.4)	43.0% (▲1.0)
外国人	56.4%	53.9% (▲2.5)	53.9% (±0.0)	43.2% (▲10.7)	50.5% (+7.3)	55.0% (+4.5)
感染症患者	68.3%	69.8% (+1.5)	68.7% (▲1.1)	—	—	—
感染症 (新型コロナ、 エイズ等)	—	—	—	46.9%	47.8% (+0.9)	66.2% (+18.4)
ハンセン病 患者	—	—	—	43.0%	44.7% (+1.7)	40.5% (▲4.2)
犯罪被害者	—	75.7%	76.2% (+0.5)	64.0% (▲12.2)	66.5% (+2.5)	65.8% (▲0.7)
刑を終えて 出所した人	—	—	—	42.3%	46.0% (+3.7)	47.1% (+1.1)
アイヌの人々	—	—	—	27.8%	32.2% (+4.4)	33.6% (+1.4)
インターネット	—	—	—	59.3%	60.2% (+0.9)	72.4% (+12.2)
ホームレス	—	—	—	37.5%	34.6% (▲2.9)	39.3% (+4.7)
性自認に関 する問題	—	—	—	36.7%	41.9% (+5.2)	52.3% (+10.4)
性的指向の 異なる人	—	—	—	27.3%	36.6% (+9.3)	47.1% (+10.5)
北朝鮮拉致 被害者	—	—	—	77.3%	74.2% (▲3.1)	64.5% (▲9.7)
人身取引	—	—	—	59.5%	60.8% (+1.3)	62.5% (+1.7)
災害	—	—	—	—	—	77.2%

※数値は「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」の合計。

※感染症患者は、平成26年度以降、感染症(エイズ等)、ハンセン病患者に分けている。

また、令和6年度において、感染症(エイズ等)を感染症(新型コロナ、エイズ等)に変更した。

・前回調査と比べて、10ポイント以上上昇した人権問題は、「感染症」、「インターネット」、「性的指向」、「性自認」に関するものとなっている。

(4) 人権侵害経験

(この5年間に自分の人権を侵害されたと思ったことがありますか?)

	H11	H16	H21	H26	R元	R6	人権侵害と意識した 場面(複数回答)
			21.0%	16.2%	16.2%	16.5%	・職場でのパワー・ハラス

ある	-	23.5%	(▲2.5)	(▲4.8)	(0.0)	(+0.3)	⇒ メント …52.4% ・あらぬ噂、悪口、陰口により名誉や信用を傷つけられたこと …34.2%
ない	-	73.0%	76.6% (+3.6)	83.2% (+6.6)	80.8% (▲2.4)	82.1% (+1.3)	

・「ある」、「ない」いずれの回答も、わずかに上昇したものの、ほぼ横ばいで推移しており、「ない」と回答した人の割合は8割を超えている。

(5) 人権が尊重される社会への取組

(人権尊重社会を実現するためにどのような取組が必要ですか？(複数回答))

回 答	H11	H16	H21	H26	R元	R6
学校における人権教育	46.6%	45.3% (▲1.3)	46.6% (+1.3)	48.1% (+1.5)	42.9% (▲5.2)	45.8% (+2.9)
家庭における人権教育	66.4%	57.7% (▲8.7)	53.7% (▲4.0)	53.4% (▲0.3)	46.8% (▲6.6)	41.5% (▲5.3)
行政主導の人権啓発	30.0%	29.8% (▲0.2)	32.0% (+2.2)	31.6% (▲0.4)	32.7% (+1.1)	31.6% (▲1.1)
官民一体の人権啓発	29.3%	31.8% (+2.5)	28.2% (▲3.6)	26.0% (▲2.2)	21.1% (▲4.9)	21.6% (+0.5)
住民自らによる人権意識の高揚	27.6%	18.9% (▲8.7)	21.6% (+2.7)	20.6% (▲1.0)	20.1% (▲0.5)	19.3% (▲0.8)
社会的弱者への支援・救済	22.9%	25.7% (+2.8)	24.0% (▲1.7)	21.2% (▲2.8)	20.6% (▲0.6)	19.1% (▲1.5)

・「学校における人権教育」の回答は前回低下したが、今回調査では上昇に転じた。

一方、「家庭における人権教育」は平成16年度調査以降低下している。「家庭における人権教育」以上に、「学校における人権教育」に対する期待が高まっている様子が見えがえる。

3 結果の活用

調査結果は、令和7年度に予定している「静岡県人権施策推進計画」の改定にあたり、基礎資料として活用する。

【調査結果報告書】

調査結果報告書は、県人権啓発センターHPに掲載する。

URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/jinkenpo/jinkencenter/1002890/1067596.html>
 (「静岡県人権啓発センター」HP→「人権施策」→「令和6年度人権問題に関する県民意識調査結果の概要」)